

認定NPO法人
暮らしネット・えん

No.79



通信

電話048-480-4150

2023年度 冬号

JAZZ

4年ぶりに『みんなのコンサート』開催！

Concert ～井上信平とその仲間たち～



2023年12月3日(日)、4年ぶりに『みんなのコンサート』が開催されました。間が空いてしまったことからどのくらいお客さんに来ていただけるのか全く未知数でしたが、事前の問い合わせの多さに期待が膨らんでいきました。そして迎えた当日、あとからあとから押し寄せてくるお客さん。あっという間に満席になりました。熱気に包まれた会場、普段とは違う表情の利用者さんやスタッフたち。仕事では見られない顔です。

帰りは利用者の Y さんを自宅までお送りしました。「私が信平さんをえんに紹介したのよ」と誇らしげに話されていました。直前までご自分が使っている呼吸器の音がコンサートの妨げになると考え出席を渋っていましたが、思い切って参加してくださいました。Y さんが嬉しそうに話されている姿を見て、コンサートがあって本当に良かったと思いました。

(ケアサポートえん/清水優子)

待った!



訪問介護報酬が引き下げ! 怒!!!

元旦夕刻に能登半島地震発生、「おめでとう」気分が吹き飛ぶ年明けでした。能登半島は、海からすぐ山地になる地形で孤立集落も多く、高齢化率 60%を超える自治体もあり、被災者支援は困難を極めている様子が伝わってきます。避難所や介護施設での高齢者や障がい者の支援もなかなか進まない中、崩れかかった家の中に住み続けている老々介護の夫婦もいると聞きました。阪神淡路、東日本のそれに比べて「遅い!」と感じてしまいます。過疎化が進んだ地域での大規模災害を復旧できる力(もしくは気力)がこの国にあるのでしょうか。私たちにできることは何があるのでしょうか。

介護保険の改定は、年末に大筋が決まり、サービス利用料の標準 2 割負担、ケアプランの有料化などはとりあえず先送りになり、わずかながら介護報酬全体はアップに決まり、少しホッとしていました。ところがこの 1 月 22 日、訪問介護の基本的な報酬が全て引き下げと発表されたのです。

訪問介護の働き手は 60 代中心、70, 80 代も珍しくない「超高齢」職種。若い人の入職は少なく、地域の小さな事業所倒産閉鎖が相次いでいます。

テコ入れに増やすかと思ったら、まさかの引き下げ。その理由は、経営調査で、他の事業に比べて収益率が高くなったからとのこと。これには奇妙な理由があります。

えんの近くにもいくつかある「サービス付き高齢者向け住宅」は「高齢者向けアパート」で、「サービス」は 1 日 2 回の安否確認と相談のみ、介護職員はいません。介護が必要な入居者のために「訪問介護事業所」などを併設しケアを提供しています。同じ建物の中の居室を回って介護するのですから、効率が良く経営は良好になります。「これ、えんのヘルパーたちが、夏でも冬でも自転車やバイクで家々を回っているのと同じ「訪問介護」ってヘンでしょ?」と、ことあるごとに発言してきました。入居者さんだって、訪問ヘルパーだとは思っていないでしょう。しかし、こうした事業所は全体の 3 割近くあり、全訪問介護報酬の 4 割がここで使われているのです。

介護職種は離職が入職を上回りました。働ける世代が少なくなる中で高齢化が進みます。とてつもない難題ですが、知恵を絞り、力を合わせるしかありません。まずは、この暴挙をやめていただきますよう。

代表理事 小島美里

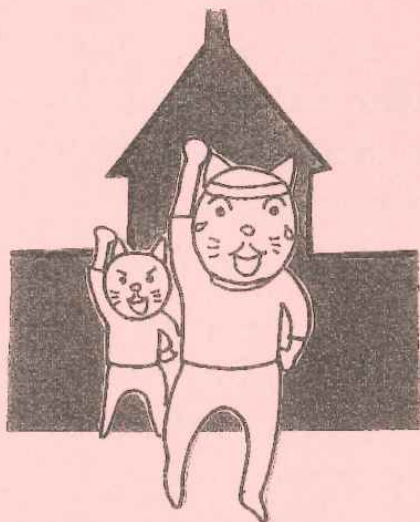
自分事として声をあげたい 介護保険のこと

2023年11月21日、衆議院第一会館で行われた『このままでは保険“詐欺”になる～介護保険は崖っぷち～』の集会に参加してきました。「詐欺?!」とはどういう事?と思いながらドキドキの初参加でした。

集会は国から出された介護保険制度の改正案について介護保険に関わる様々な立場の方が一人ずつ発言をしていくという形で進められていきました。とにかく皆が今回の改正案に疑問と怒りを持っており、どの方の発言も「その通りだ!」と聞いている私も熱くなっていました。

私たち訪問介護で関わってくる改正案の中の1つに、介護サービス利用料を1割負担から2割を負担にするというものがあります。物価高の今、負担額が増えれば、中には介護サービスの利用を控える方が出てきてしまうのではと心配されます。介護保険料を払っていても、肝心な時に使えない保険になっては困るのです。“保険詐欺”改正案はこれだけではありませんが、今回2割負担化は令和5年末の介護給付費分科会の結論では先送りになりました。

私は普段介護の現場に出ているので、決められた制度の中でどのように良いサービスを提供し、どのように生活を支えられるかということを考えていて、制度については自分では変えられないから「こんな制度困るのに」と思っても声をあげることが正直あまりしてこなかったと思います。えんには物申す代表が常に利用者さん、職員のことを考え戦い続けてくれているので、どこかで「お任せ」の気持ちがあったからです。



今回、ナマで皆さんの熱い発言を聞き、今は介護する側の私もいずれ介護保険を利用する立場になる。「自分事」としてしっかり考え、声を上げられないと何も変わらないと思いました。

エイエイ、オー!!

(ケアサポートえん／桑原美香)



“えん”主催「みんなのコンサート」に参加して

うっぼ

新座市野寺2丁目 打保正三

私の Wife が昨年5月から「デイホームえん」にお世話になっています。ケアマネージャーが見えた際に、このコンサートにお誘いを受け、高校時代から男声合唱を歌っており、音楽ならジャンルを問わず聴くのは大好きで参加しました。

「暮らしネット・えん」主催のコンサートは、今回で20回目となるとのこと。“高齢になっても障がいがあっても、この街で暮らし続けるために、おとなも子どもも共に生きる地域社会を創る”をモットーに地域にこれだけ根付いて幅広い福祉活動をしている日ごろの継続的なご尽力に、まずは敬意を表したいと思います。大変なことですし、素晴らしいことです。

最初にびっくりしたのは、あの中央公民館の体育室が超満員だったこと。200人を超えていたそう。「えん」さんの動員力に感服するとともに、日ごろの活動に対する住民からの信頼・感謝の現れだと思いました。

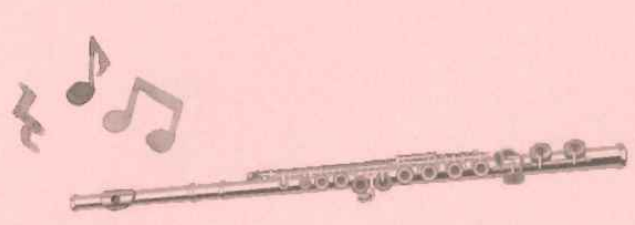
演奏家について。今回のジャズミュージシャン4人とも海外での演奏経験もあり、場慣れしている。フルートの井上信平さんは存じ上げており、スピーチに愛嬌があって惹き込まれる。4人の演奏の所々で聴かせるそれぞれのフォーバース(ソロ)には会場から大きな拍手を受けていた。15回コンサートでも井上さんをお呼びしているようですね。

曲目も「枯れ葉」「サンセットカーニバル」「Coming home baby」など、なじみの曲ばかりで、井上さんのスピーチと合わせなかなか聴かせていました。とくに「枯れ葉」は私の大好きな曲で、元々はシャンソンですが、1955年ごろからジャズのスタンダードナンバーに編曲されて軽快なメロディー・リズムで奏でられています。ジャズの方も哀愁を帯びていていいですね。


アンコールで歌われた来場者全員による「ふるさと」の合唱。東日本大震災のあと取り上げられることが多くなりましたが、フィナーレにふさわしい曲で、皆さん楽しそうに歌っておられました。

最後に。日ごろは高齢者や障がい者を相手に忙しく働いておられるえんスタッフの皆さんが、「音楽はすべての人の心を結びつけ和ませる」と、企画と実務の準備をして実現されていることに心から拍手を送りたいと思います。ご苦勞のなかで培われた“優しさ”があるから、お客さんにも笑顔あり、かけ声あり、口ずさみあり、拍手あり…楽しいアットホームな雰囲気をつくり出すことができるのでしょう。だからこそ、こういうコンサートで最も大事な「ステージと観客の一体感」が見事につくり出されたのだと思います。参加された老若男女の皆さんが笑顔を浮かべて、リズムに頷きながら熱心に耳を傾けている姿に、逆にこちらが勇気と励ましをいただいたコンサートでした。


どうもありがとございました。




みんなのコンサート みんなの感想




とっても素敵なコンサートでした!!参加も出来て、楽しかったです(^^♪トークも面白かったですし、クリスマスも味わえました♪♪今日の演奏の方々は皆さん素晴らしい経歴をお持ちの方々に、そのような方々のコンサートを聴けて、本当に良かったです。




めちゃくちゃ楽しかったです。すごく親子でしあわせでした。ありがとうございました!




ずっとコロナで中止になっていたので、再開して嬉しかったです。とにかく演奏してくださった方々がカッコよくて、ノリノリで拍手をとったりして、とても楽しかったです。どこを切り取っても楽しくてもうホントあつという間でした。



新座で素敵なジャズコンサートを聴かせてもらいました。どの曲も良かったです。ベーシストが楽しそうに体で表しているのに感激しました。また来たいです。



楽しかったです。♪またお願いします。(えんの森住人)



長かった暑い夏を乗り越えて、枯れ葉の季節まで生き延びた我々にご褒美のひとつをありがとうございました。新座の地に流れ着き、共に年を重ねてきた人たちと一緒に楽しい時を過ごせて幸せでした。老いることが苦にならない暮らしを支えて下さっているえんさんに感謝です。

その他、紹介しきれない沢山の感想ありがとうございました。

ごちゃまぜカフェ 始めました。



昨年（令和5年）の7月に、障がい当事者ご家族Tさんより「地域の中で障がい当事者・家族・支援者、地域の人たちが集える場所を作りたい」と、基幹相談支援センターえんに相談がありました。相談を重ね、新座市福祉政策課が運営の協力、基幹相談支援センターは家族や支援者の相談窓口として、そして暮らしネット・えんが場所を提供して開催が決定。11月より「ごちゃまぜカフェ」がスタートしました。

障がいの有無、年齢、性別に関係なく誰でも参加できる、地域の小さなユニバーサルな集まりとなっています。楽しい催しを企画している時もあり、気ままにおしゃべりしたりお茶を飲んで一息ついたり・・・居場所や友達作りにもなる場所です。



Tさんのように、地域の福祉のために「こんなことやりたい」「なにかやりたい」「こんなものがあつたらいいのに」と、漠然とした思いを抱いている方がいるのではないのでしょうか。基幹相談支援センターえんは、そのような地域の方や支援者の方たちの声を拾い、実現に向けて一緒に考え作り上げていくお手伝いもしています。

（新座市基幹相談支援センターえん／安田実子）

わたしも
けん玉名人に
なりたいな！

1月のカフェには、けん玉名人登場！

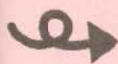
これ、
どうすれば
いいのかな？





～クリスマスキャロル隊～

12月22日(金)夕食時、食堂へクリスマスキャロル隊が来てくれました。突然のサンタさん来訪に皆さん最初は驚かれていましたが、歌が始まると一緒に手拍子されたり歌われたり…。チラッと見てニヤッとされ、また食事にもどるマイペースな方など、それぞれの時間を楽しまれていました。



サンタさんたちと記念写真を撮られ、子どもさんの小さいサンタさんを見て微笑み、「大きいサンタもいたね～」とあとから印象に残っていたようで話をしてくださる方もいらっしゃり、とても和やかなひと時を過ごしました。

クリスマスキャロル隊の皆さん、歌やハンドベルのプレゼントありがとうございました。可愛いサンタさん、大きいサンタさん、たくさんのサンタさん来年もお待ちしています。

(グループホームえん/佐藤弘美)



(えんスタッフとのお子さんで編成したキャロル隊です)

第13回 まどかコンサート特別編

活弁 『ローマの休日』

オードリー・ヘップバーン主演のあの名画を独自編集。

活動写真弁士(活弁士)の語りと

ピアノ&ギターの生演奏でお楽しみいただきます。

語り **千葉玲子** ピアノ&ギター **齋藤ちやくら**

●とき:2024年3月24日(日)14:00 開演(13:45 開場)

●ところ:多機能ホームまどか

●参加費:無料(先着40名様)

主催:NPO 法人暮らしネット・えん(多機能ホームまどか)

申込・問合せ:多機能ホームまどか TEL042-476-1501

◆ 認知症電話相談のお知らせ ◆

認知症に関する悩みごと、介護のコツや生活の工夫等々、お気軽にお電話ください。

TEL 048-480-4150

認知症カフェえんの森 再開!

これまでは「認知症のことを地域の方に理解していただく」ことに主眼をおいてきましたが、再開を機に、ご本人と介護家族を中心にした集いとなります。参加を希望される方は、吉村または小島までお電話ください。

～新型コロナウイルス対策～

5類に変更となりましたが、変わらず感染防止対策につとめてまいります。



地域で暮らし続けていくために 2023年度新規・継続会員募集中!

正会員: 1000円 賛助会員: 3000円

※入会を希望される方は、事務局までご連絡ください。

郵便振替(00180-5-314344)



■ 編集・発行 認定NPO法人暮らしネット・えん

〒352-0033 埼玉県新座市石神2-1-4

電話:048-480-4150 FAX:048-201-1311

Eメール:npoenn@jcom.home.ne.jp

ホームページ:<https://npoenn.com/>